

さらなるデータセンター集積へ GX戦略地域(第1弾)に認定されました

石狩市は、経済産業省によるGX戦略地域(第1弾)データセンター集積型に認定されました。

認定された地域は、脱炭素電源を活用したデータセンターの集積に向け、GX戦略地域制度によるさまざまな優遇措置を受けられます。これらを活用し、市内の工業団地「石狩湾新港地域」にさらなるデータセンターや最先端産業施設の集積を目指す考えです。

GX戦略地域制度と石狩市

「GX戦略地域制度」は、データセンターの地方分散や産業の脱炭素化に向け、経済産業省が重点的に支援する地域を認定するものです。

令和7年度に対象となる地域の募集があり、石狩市は令和8年4月に1次審査を通過した「有望地域」に選定されていました。このたび石狩市が認定されたデータセンター集積型は、脱炭素電源が豊富な地域に大規模なデータセンター集積拠点を分散させるため、選定地域のインフラ整備などを促進するものです。

データセンターは、大量のデータを保存・計算する施設で、生成AIなどの普及に伴い、社会的な重要性が増しています。

石狩市はこれまでも洋上風力発電をはじめとする市内の再エネ電源を活用し、石狩湾新港地域への誘致を進めており、今後もグリーンデータセンターを集積させることで、市の財源確保による安定的な市政運営や地域のデジタル化などを推進します。

データセンターに寄せる 市長の思い

豊かな風が吹く石狩市には、洋上風力発電など多様な再生可能エネルギー電源が集積しています。

その中で、われわれ自治体は、立地する電源を「どのように地域づくりに生かすのか」が求められています。

石狩市は、地域でつくられた再エネをデータセンター誘致に活用することで、産業振興や市民の皆さまの生活をより豊かにするための財源確保につなげてまいりました。

今回のGX戦略地域への認定は、この取り組みのさらなる追い風になると認識しております。今後も企業誘致を進め、持続可能なまちづくりを実現いたします。



▲経済産業省HP



▲関連記事
(令和7年12月号)

地域防災の新たな拠点

浜益北分団詰所

始動



これまで浜益地区の消防・防災活動をそれぞれ担ってきた「群別分団」と「幌分団」は、災害への対応力強化と迅速かつ安全な活動を目指し、両分団の要望を受け、「浜益北分団」として統合しました。

新たな活動拠点となる新分団詰所は、消防車両や資器材の管理だけでなく、災害発生時に団員が迅速に参集して情報収集や出動準備を行う重要拠点です。人・車両・資器材を一体的に管理することで、火災はもちろん、豪雨や暴風雪、地震などの自然災害に対しても、これまで以上に迅速かつ効果的な対応が可能となります。

さらに、経験豊富な団員と若手団員が手を取り合って活動することで、長年培われた消防技術や知識が次世代へと受け継がれ、地域全体の防災力がより一層高まります。

石狩消防団では、本年4月1日に群別分団と幌分団を統合し、新たに「浜益北分団」が発足しました。このたび、その活動拠点となる浜益北分団詰所が完成し、運用を開始しています。

「浜益北分団」は、この新しい拠点をフルに活用し、地域住民の皆さんや関係機関との連携を深めながら、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

石狩消防団 浜益北分団詰所

場所

浜益群別596・16

構造

木造平屋建て

延床面積

100.20㎡



車庫には車両1台、防火装備などを収納します